

市議会 9月定例会

行政報告

市議会九月定例会が九月四日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

県内9市では初めて

ISO認証を取得

大館市環境マネジメントシステム

四月から全面運用を開始します大館市環境マネジメントシステムは、八月二十四日付けで審査登録機関から国際規格であるISO 14001に適合しているとの認証を受けました。

県内の自治体では二番目、九市では初めてとなりますが、この認証の取得を新たなスタートとして、今後も環境に関する影響の軽減と汚染の予防に継続的に取り組んでいきます。

広域ごみ処理施設

PF1方式で整備

大館周辺広域市町村圏組合では、大館広域圏のごみ処理施設の整備を「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」、いわゆる「PF1法」により実施します。去る八月二十二日には、特定事業の選定と特定事業を実施する民間事業者の選定を行うための「実施方針」を定め、公表しました。

今後は、入札などを行い、契約に関わる協議を整えながら広域組合議会の同意を得て、平成十三年三月末までに廃棄物処理委託契約を締結する予定です。

※PF1

(Private Finance Initiative)
 公共施設などの設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金やノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことにより、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る手法。

長木ダムの

建設中止勧告について

長木ダムの建設事業は、去る八

月二十八日に与党三党が政府に中止を勧告した公共事業二百三十三件の中に含まれているとの報告を、県から受けました。

安定した水を確保することは市民の長年の悲願です。農業用水の確保はもちろん、安全な飲料水を安定して供給していくために、ダムの建設が現時点では最良の方法であると考えています。このことは、昨年八月の県の休止決定から一年を経た現在でも、ダムに代わる代替案や対応策が具体的に示されていない状況が、如実にそれを示しています。

こうした市民の切実な願いの中で、代替案を持たない本勧告がなされたことは、大変残念なことであると思っております。今後は、市民にとって最も大切な水の確保について、国や県の考えを伺いながら、今後の対応を考えたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。

介護保険制度の

取り組み状況

認定状況については、七月三十一日現在の要介護認定結果通知者数は二千三百五十八人で、その認定結果の内訳は、要支援が二百七十五人、要介護一が五百四十五人、



登録証

登録番号：E012

大館市役所

貴組織の環境マネジメントシステムは、当財団による審査の結果、下記に記載される活動、製品又はサービスの範囲で、適用規格に適合していることを証明します。

適用規格：ISO 14001:1996・JIS Q 14001:1996

登録企業の工場又は事業所の所在地：秋田県大館市字中城20番地他

適用する活動、製品又はサービスの名称：付属書による。

有効期限：2003年8月23日

発行日 2000年8月24日

財団法人 **ピーアールピー**
 システム審査登録センター

理事長

北島 照射

上級経営管理者

十亀 彬

